

執筆のしおり

広報SENACは、広く利用者の便を図るために、下記の要綱にしたがった投稿を掲載いたします。

1. お寄せいただきたい投稿内容

次のような内容の投稿のうち、当センターで適当と判定したものを掲載します。その際に原稿の修正をお願いすることもあります。

 - a) 学術あるいは技術に関する論説または意見
 - b) センターの業務、運営方針に対する要望または意見
 - c) その他利用者一般の方々に関心をもたれる事項に関する論説または意見
 - d) 計算機を利用して行った研究論文の概要
 - e) プログラムの実例と解説
2. 執筆にあたってご注意いただく事項
 - a) 原稿は横書きです。
 - b) 術語以外は、「常用漢字」を用い、かなは「現代かなづかい」を用いるものとします。
 - c) 学術あるいは技術に関する原稿の場合は 200 字程度のアブストラクトをつけてください。
3. 原稿の提出方法
 - a) サイズは以下を参照ください。
 - ・原稿(B5)の印字部分は縦 21cm、横 14cm
 - ・文字の標準は明朝体 10～10.5 ポイント
 - ・標準の文字数 (37 文字 43 行)
 その他詳細は、以下を参照ください。
<http://www.cc.tohoku.ac.jp/refer/sipitu.html>
 - b) ファイルは Word 等で CD あるいはメールに添付して提出ください。
4. その他
 - a) 投稿原稿は原則として返却しません。
 - b) 執筆者には、希望があれば執筆号の PDF ファイルと別刷 50 部を進呈します。50 部を超える分については、著者の実費負担とします。別刷の希望部数等は投稿の際に申し出てください。
 - c) 初回の校正は、執筆者が行って、誤植の防止をはかるものとします。
 - d) 原稿の送付先は次のとおりです。

郵送：〒980-8578
 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
 東北大学情報部情報基盤課庶務係
 Tel 022-795-3406,3407
 Fax 022-795-6099
 e-mail uketuke@isc.tohoku.ac.jp

編集後記

最近ヨーロッパに出張する機会があり、スイスやオランダで無線 LAN ローミング基盤・eduroam・(SENAC Vol.40 No.1 参照)を試してきました。文字で書けばただ「つながるだけ」なのですが、実際に異国の地で利用していると、じわじわとそのありがたみが感じられてきます。ホテルや地元プロバイダなどの高額なインターネット接続サービス(一日 \$20～)を使わなくても、教育研究機関に行けば自由にネットワークに接続できるのです。出先で気が向いた時にいつでも、スパコンで処理した大容量データをチェックして…、などという利用形態もそのうち一般的になるのかもしれませんが。国内では全 6 機関、学内では加齢研などが既に eduroam に接続されており、普及を期待しています。(HG)

春先における長期予報では、今年の夏はラニーニャ現象で猛暑になるということでした。東北の梅雨明けは例年より遅れて 8 月 1 日となり、予報がはずれたと思っていましたら連日猛暑が続き、仙台では過去最高の 37.2 度を記録しました。また、熊谷市と多治見市では観測史上最高の 40.9 度を記録し、熱射病となる方が多数でて、長期予報が的中した夏となりました。

さて、来年 3 月に更新されるスーパーコンピュータのシステムが決まりました。現在と同じ SX シリーズの SX-9 で、1 CPU あたりの演算性能は 102.4GFLOPS で現システムの 11.6 倍、総演算性能は 25.6TFLOPS で現システムの約 12 倍となります。総メモリ容量は 16TB となります。この高性能なシステムの利用まで、今しばらくお待ちください。(NK)

SENAC 編集部会

小林広明 曾根秀昭 水木敬明
 後藤英昭 加藤雅行 加藤 昇
 伊藤英一 斉藤くみ子

平成 19 年 10 月発行
 編集・発行 東北大学情報シナジー機構
 情報シナジーセンター
 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
 郵便番号 980-8578
 印刷 大成印刷株式会社